

2016年12月20日

Vol.81

# 南事業会 ニュース



冬に輝く満開の桜 大岡川イルミネーション

点灯日時：11/26～1/9 16:00～21:00

## Table of Contents

■ 消費税軽減税率対応セミナー	2
第4回経営者セミナー	2
■ 「酉の市」出火防止キャンペーン	3
年末年始に向けた火災予防 ～南消防署予防課長～	3
■ 「ご縁と歩み」その1	4～5
■ 新会員紹介	6
岡部産業株式会社	
東京キリンビバレッジサービス株式会社 横浜南営業所	
■ 港南区工業会ゴルフコンペ	7
委員会だより（組織委員会／総務委員会／事業企画委員会／広報委員会）	7

発行人：斎藤 隆正

発行：南事業会広報委員会

委員長：古賀 正人

事務局：〒232-0014

横浜市南区吉野町3-7

横浜信用金庫吉野町支店3階

TEL 045-252-4452

FAX 045-252-4457

E-mail: minami-k@mbi.nifty.com

事務局長 山下 逸重

## 消費税軽減税率対応セミナー

すっかり秋らしい気候となった10月12日(水)午後6時より、理事会の冒頭に、横浜商工会議所主催によるセミナーが開催されました。内容は中小企業の為の消費税軽減税率の対策について。講師には税理士法人アイム会計事務所 税理士の石川昇氏をご説明くださいました。まずは自社の商品の何が軽減税率の対象となるか?を説明頂きました。今回の増税では飲食料品は軽減税率の対象となりますが、外食は対象になりません。しかし店からのテイクアウト・持ち帰り・宅配は対象になるなど、持参された小冊子を参考にわかりやすくご説明頂きました。また軽減税率制度導入時の事務処理として、区分記載請求書・適格請求書(インボイス)の様式変更のお話や導入時に国の支援策としての補助金を利用するためのフローなどがありました。注意点として、消費税の転嫁拒否等の行為が禁止であり、消費税分を値引きする等の宣伝・広告の禁止など禁止行為についても説明がありました。

消費税軽減税率対策についてのお問い合わせは、商工会議所HP「消費税軽減税率・転嫁対策相談窓口」<http://www5.cin.or.jp/ccilist/search>へお問合せ下さい。



## 第4回経営者セミナー

11月16日第4回経営者セミナーが開催されました。

講師には中小企業法他、多くの分野で活躍されている弁護士佐藤裕先生をお願いいたしました。参加者は斎藤会長はじめ19名の方が出席されました。



講習では中小企業と弁護士の付き合い方についてお話を頂きました。

直接的な費用の話として、昔は統一の価格である弁護士報酬規定がありましたが、今は統一の基準は無く自由化されているそうです。

今回の講座では着手金及び報酬金の目安を教えてくださいました。

経済的利益	着手金	報酬金
100万	10万	16万
300万	24万	48万
500万	34万	68万
1,000万	59万	118万

相談料は、30分 ¥5,000～¥10,000

顧問料は、月3万～15万

が相場とのこと。

上記は目安なので、今は着手金0円 相談料0円などでやる事務所がありますが、弁護士をうまく選ばないと安かろう悪かろうになってしまうことがあるので十分に気を付けないといけないなどのポイントを教わりました。

また依頼した場合の弁護士に対しての心構えなどをお話しただけでした。



今回の講習は事例などを入れ、フランクにお話を頂き、わかりやすい講義をしていただき、とても有意義な時間でした。

## 「酉の市」出火防止キャンペーン

11月9日～15日は全国火災予防週間が展開されました。南消防署に於いても、これからの火災の発生しやすい時期にあわ



せ、住宅用火災報知器の設置普及、維持管理及び出火防止に対する注意喚起を図り、災害に強い街づくりを推進する為、10日、11日の両日に亘り、出火防止キャンペーンが行われました。南事業会にも参加協力要請があり、両日ともに参加いたしました。

10日木曜日午後3時30分から、横浜弘明寺商店街観音橋及び桜橋周辺で、関東学院中学校高等学校マーチングバンド部によるパレードと演奏に南消防署、南消防団の皆さんと当事業会から齋藤会長が参加し、啓発品の配布を行いアピールを行いました。



翌11日金曜日は今年の酉の市の「一の酉」にあたり、真金町の「金刀比羅大鷲神社」周辺で午後1時30分からキャンペーンが行われ、南消防署、南消防団、南火災予防協会、南区自衛消防隊連絡協議会、寿東部連合町内会家庭防災員の皆様方と一緒に、南事業会からは齋藤会長、島田・山中の両副会長、山下事務局長

の4名がお揃いのブルズンを着用し、神社前から二班に分かれ、南消防署員を先頭にのぼり旗を掲げ、啓発品



を配布しながら露天商(440余)でいっぱいの路地を廻わり、さらに横浜橋通商店街のアーケード内にて通行人にアピールを行いました。

今年は二の酉までですが、俗に「三の酉までである年は火事が多い」と言われていますが、なぜそう言われるのでしょうか。「天変地異を知らせるといわれる酉(鶏)が三回も登場するから」とか「三の酉の頃になると寒くなって、火を使うことも多くなるから」と色々な説があるようですが、はっきりした理由もそして実際に火事が増えたという事実もない

ようです。

皆様の事業所及び各家庭ではくれぐれも火の元には、ご用心!!ください。

次は南消防署・尾崎予防課長様による、火災予防についてのお話です。もう一度見直ししてみてください。

## 「年末年始に向けた火災予防」

～南消防署予防課長挨拶～



南消防署  
尾崎予防課長

日頃から南消防署の出火防止対策の推進に御協力いただき、ありがとうございます。また、11月10日と11日に「秋の火災予防運動」の一環として行われた「出火防止キャンペーン」における南事業会様の御協力に対し厚く御礼申し上げます。今後もより一層交流を深めていきたいと思いを。

さて、今年の南区内の火災発生件数は32件(12月4日現在)と昭和23年の自治体消防発足以来、最も火災が少なかった昨年同時期の件数(35件)を更に3件下回っています。これも地域、事業所等の皆様の地道な出火防止活動のおかげと感謝申し上げます。

一方、「たばこ」による火災が多く発生しているのが今年の区内の特徴です。昨年1年間では区内で1件でしたが、今年は既に8件発生しています。たばこ火災を防止するためには、①水を入れた灰皿を使用すること ②灰皿の吸い殻をゴミ箱に捨てる時は、火が消えていることを再確認すること ③家庭でも寝たばこは絶対にしないこと、といった「基本的な約束事」を守ることが大切です。改めて各事業所でも再徹底をお願いいたします。

また、空気も乾燥し、火災が発生しやすくなっており、暖房器具に起因する火災の増加も心配されます。南事業会の会員の皆様にあっても、平成28年度全国統一防火標語の「消しましょう その火その時その場所で」を常に意識しながら、火の不始末などによる火災を絶対に起こさない様に、御注意いただきたいと思いを。

これから慌ただしい年末を迎えますが、明るいお正月を迎えられますよう、一層の出火防止対策への御協力をよろしくお願いいたします。

## 「ご縁と歩み」 その1

世の人の考え歩みは、十人十色と言われていています。正に私もその1人ではないかと思えます。

また、この世の中は愛と、縁とがとても重要だとも言われています。

とりわけ事業会の会員間では、その絆を深めお互いの縁が大変大切なことではないかと私は考えて居ります。

この度、私がこのエッセイを書くことになりましたのも、本会の山中副会長と最近の行事、山崎製パンと大倉陶園工場見学&警視庁見学に同行したことから、再度お会いした際、本紙への投稿をご依頼され、それもみなご縁のお陰かと思っております。

本業での活動もさることながら、本年86歳になりました私が以下に記しました、社会貢献事業ボランティア活動も全て人々や社会とのご縁より生じ行われ歩んで居るものであります。

本事業会&会員間の交流同様、私の建築総合設備を行っている神中工業株式会社が、53年に渡って今日まで無事営んでいれるのも、皆様とのご縁のおかげです。

私共の会社の使命、目的もまた、当社が支援して運営して居ります、NPO団体の趣旨目的も同じく「共に豊かに、共に生きる、幸せに」であり、その事業内容方法は各々異なっていますが、最終目的は双方とも同じかと考えて居ります。

会社での地域社会貢献事業（CSR）は、本文では割愛いたしますが、以下のNPO法人が海外&国内に於いて行って、その歩みについては皆様にご披露いたしますので、この一文が皆様のお役に立てば幸いです。

### 1. 国内でのボランティアの歩み

（NPO法人ともに浜をつくる会）

横浜開港時140kmあったとされる横浜の海岸線、市民が直接海とふれることが出来る海辺は、現在は金沢区野島海岸に1.4kmあるのみになりました。横浜の名称は横に浜が長かった為、横浜と名付



神中工業株式会社  
代表取締役会長 石田 猛

けられたと聞きます。現在、その面影はありません。

文明の開化は横浜の海の埋立によって生じたと言って過言ではありません。私はこの事を忘れません。なぜなら、私自身が海苔の養殖漁業を中区本牧の海岸で永年に渡り営み活していたからです。

当時横浜市は異常な程の経済発展のため、横浜港の港湾施設や住居、工場用地等が不足となり浅瀬の多い横浜の漁業用地が必要となるが故、私達中区本牧の漁業者にも海岸埋立の同意を幾回となく求めてきました。当初は不可でしたが最終的に横浜市の誠意と熱意ある説得により、合意し決定されました。よって先祖より5代目の私も止むえず漁業より、現在の管工事設備業に転業、自然を相手にしていた仕事から、人を相手とする職業に移り変わりました。全く変わった仕事、失敗は数限りなく生じました。然しその反面心温かい人々との出会い、ご縁によって数多くありました困難も克服することが出来ました。

こうした環境の中でも自然の尊さ恩恵と海への愛着を忘れることが出来ず、いまだ海への夢は度々見るそんな折、元気な孫より「何で横浜には、海は無いの？無くなってしまったの？」の一言は私の胸につきささりました。その時を機に少しでもこの横浜に自然の浜辺をつくりたいという考えが生じ、やがて「NPO法人ともに浜をつくる会」を設立し有志の協力を頂き10年来活動して参りました。幸い今は現在会員各位や、家族の協力により円滑に営まれて居ります。



横浜国際フェスタにて

さて本題の「NPO法人ともに浜をつくる会」の横浜でのボランティア活動ですが、会は創立以来数多くの事業活動、行事集会を行いました。本文ではその主な活動について掲載お知らせ致します。

(1) 海苔づくり体験実習を、本牧南小学校、本牧プール、金沢小学校、関東学院六浦小学校、金沢漁協金沢支所、横浜市南部市場、横浜市日本丸施設等にて10年間適時実施。



海苔たたき キッズクラブ

(2) 横浜の今昔写真展を、横浜情報文化センター、横浜国際展示ホール、横浜市中区象の鼻公園、横浜公園屋外展示場、横浜グランモール公園等、毎年次上記各所にて実施。(鶴見より金沢迄の海辺)

## 中区

### 山下公園

横浜の海辺のすがた今昔



今

山下公園



昔

山下公園ができる前 明治初期

ホテルニューグランド前 砂浜



(3) 東京湾海岸の現地視察研修ツアーを、神奈川県・東京都・千葉県等、各地の海岸&海上公園及びその施設について会員及び市民参加により毎年順次行いました。



横浜シーバスのりばにて

(4) 平成23年3月11日の東北震災地への支援を、三井物産株式会社よりの多大な復興再生資金と合せ当会会員及び支援賛同者各位の強力な支援協力により、宮城県気仙沼市大島に数千万円余の支援金、10万点余の物品を拾数回に渡り訪島し寄贈した他、労力による奉仕を行い同島の漁場を災害前同様に復興再生し寄与しました。

(5) また本会本来の目的である快適な住み良い環境の横浜をつくるため、2万人余の署名を持って市に浜辺づくりを要望、そして具体的な推進活動として海辺再生プロジェクトの企画(ヨコハマビーチパークプロジェクト)作成、提案、また横浜の海辺の実体を知るための面白いマップを現在作成中です。近く皆様にもお見せ出来るかと思っておりますので期待ください。



次回も引き続き、石田会長からの「ご縁と歩み」その2 タイ国でのボランティアの歩み(NPO法人横浜国際ボランティア協会)を掲載予定です。お楽しみに...

## 新会員紹介

### 岡部産業株式会社

「ようこそ日本へ」「人の和を大切に」をモットーに

弊社は、昭和41年設立以来、50年間にわたり貿易国日本で横浜港という日本を代表する港にて、繋離船作業、船舶給水作業を行っております。

船からの綱の取り離し作業は人の手によって行っているため、社員一人一人がコンプライアンスを守り、お客様に喜んで頂けるよう日々努力し、作業にあっております。

主な作業場所としては、大黒埠頭・日粉・出田町・瑞穂埠頭（米軍基地）などで行っており、また船舶の大きさは300トン位～16万トン位まで大きさに差があります。365日、24時間勤務で行っております。

近年では、クイーンメリー、クイーンエリザベスといった世界的に有名な豪華客船の入出港の綱取りなどをさせて頂きました。

我社綱取り人＝「ラインマン」は、「ようこそ日本へ」というおもてなしの心を忘れず、また、「人の和を大切に」をモットーに、全社員一丸となって横浜港発展、さらには、日本国のため尽力しております。

業務内容：繋離船作業・船舶給水作業

代表者名：代表取締役社長 岡部 八寿子

所在地：

● 本 社

〒232-0013

横浜市南区山王町2-19-1

日神パレステージ横浜吉野町Ⅱ208

TEL:045-253-3666 FAX:045-253-3665

● 大黒埠頭営業所

〒230-0054

横浜市鶴見区大黒埠頭1

大黒埠頭管理センタービル2F

TEL:045-501-6472 FAX:045-501-7429



### 東京キリンビバレッジサービス株式会社 横浜南営業所

自動販売機のご相談・ご用命は当社へ

私たちは、総合飲料企業キリンビバレッジ（株）が、多くのお客様によりおいしい状態の飲み物を味わっていただきたいという思いで設立した、自動販売機を管理・運営する会社です。

そして何よりも、よりお客様に近い位置でダイレクトに自動販売機を通し、質の高い商品とサービスをより多くのお客様へ提供し、心豊かな時間を過ごしていただきたいと思っております。

私たちは地域密着の自販機オペレーターを目指し、日々活動をしています。エリアは神奈川県はもちろん！その他エリア（東京・千葉・埼玉）にも拠点があり対応可能です。現在、設置している自動販売機でのご不満・ご要望・お困りごと、または新規で自動販売機を設置したい方も何でもご相談ください。

業務内容：自動販売機の管理・運営

代表者名：所長 玉置 長春

所在地：

〒232-0064

神奈川県横浜市南区別所1-9-24

TEL:045-741-0538



## 港南区工業会ゴルフコンペ

2016年9月23日（金）神奈川県の名門 戸塚カントリー倶楽部・東コース（6298ヤード、パー72）において、港南区工業会ゴルフ大会が開催されました。8組、総勢32名が集まり、南事業会として1組4名が参加させて頂きました。アウトコース、インコース共に7：41分スタートにて開催しました。



最終ホールティーショット前の齋藤会長

当日は生憎の天候でしたが、多くの皆さんがご自分の好スコアにも満足されて、そうでない方も含め、終日和やかで楽しいゴルフを満喫しました。

また、港南区工業会の方々の相互の懇親が大いに深まったものと期待されます。

プレー後には成績発表を兼ねた懇親会を場所を変えて、上大岡駅前の個室居酒屋「きざみ」にて楽しく執り行われました。

今後も、開催を予定致しますので会員の方々にも是非とも参加して頂きますよう、ご協力をよろしくお願い致します。今後の活動の活性化の一助となり、港南区工業会・南事業会のさらなる発展に少なからず寄与できるものと思っております。

楽しいひと時を過ごさせて頂き大満足でした。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 委員会だより

### ■組織委員会

11月4日（金）13時より南事業会事務局にて、齋藤会長、山中・島田副会長、山本組織委員長、山下事務局長の5名で会員増強の対策を検討しました。具体的に勧誘したい会社名を揚げ、折衝の担当者を決める作業に入り、またその進捗状況を組織委員会で一括管理することにしました。組織委員会閉会后すぐ行動に移し、（有）誠行社様に立ち寄り入会の承諾を頂き、幸先良いスタートを切ることが出来ました。

会員の皆様も新会員増強の為に、情報が御座いましたら是非ご連絡下さい。

速やかにご紹介先に、会長はじめ組織員会で加入のお願いに上がります。



ご協力のほど  
よろしくお願い致します。

### ■総務委員会

#### 新年賀詞交歓会のお知らせ

今年度の新年賀詞交歓会の日程が下記のように決定致しました。

お蔭様で会員増強も順調に進んでいます。

当事業会発足の趣旨、製造業発展を基本にしながら製造業の減少にも伴い、より一層事業会を発展させるためにも製造業以外の地元事業者にも声掛けし、地域振興にも貢献しながら会員皆様の参加型の会を目指しております。

月 日：平成29年1月30日（月）

開宴 6：00～ 受付 5：30～

場 所：ホテル横浜ガーデン

会 費：7,000円

益々の発展のためにも、会員皆様の多数のご参加をお待ちしております。

### ■事業企画委員会

10月8日（土）に企画致しました、日本女子ソフトボール横浜大会は残念ながら雨天のため中止になりました。

大会自体は順延され10月9日・10日・11日と開催されましたが、9日も前日からの雨天で14時開始という異例な大会運営となりました。事務局は3日間観戦しましたが地元の日立チームは3日間とも快勝し、最終節の優勝決定トーナメント進出に望みをつなぎました。

### ■広報委員会

事業会ニュースを年4回の発行に向けて会員の皆様方に興味を持って頂く記事を取り入れ、会員様からの様々な情報なども盛り込んで参りたいと思います。ご寄稿頂きました関係者の方々には心より感謝申し上げます。事業会ニュースの運営は広告料で運営されています。今後とも、ご協力の程宜しくお願い致します。

石川精機製作所株式会社

代表取締役 石川 隆

大坪工業株式会社

代表取締役会長 大坪 久己

株式会社カンザイ

代表取締役 横山 敦子

共同写真株式会社

代表取締役 古賀 正人

高栄企業株式会社

代表取締役 中村 栄一

港南硝子株式会社

代表取締役 宮代 茂

光洋電設株式会社

代表取締役 橋本 正男

株式会社ジェイコムイースト  
横浜テレビ局

局長 野中 範郎

株式会社柴橋商会

代表取締役 柴橋 和弘

神中工業株式会社

代表取締役会長 石田 猛

株式会社セレベル

代表取締役 森 研二

千歳自動車工業株式会社

代表取締役 竹村 統身

日本濾水機工業株式会社

取締役会長 橋本 祐二

株式会社平岡電機工事

代表取締役 平岡 久雄

株式会社本田工務店

代表取締役 本田 政敏

株式会社マック

代表取締役 山本 耕司

横浜信用金庫  
吉野町支店

支店長 高田 信

有限会社旅館松島

代表取締役 島田 秀世

株式会社ワイシー・ドキュメント

代表取締役 朝香 雅文

## 編集後記

南区は新田開発で埋立された吉田新田の地域。江戸時代寛文7年(1667年)に吉田勘兵衛(材木商)によって完成しています。来年は350周年になります。吉田は新田開発の成功は村民の努力と神仏の加護があったからとし、地域の氏神として日枝神社、守護する寺院として常清寺を建立しています。

今号に寄稿いただきました石田猛様は53年前まで、五代続く漁師でありました。本牧浜から根岸、磯子、屏風浦まで広範囲に亘り海苔養殖を営み、一時は全国一の収穫量を誇った時期もあるとのこと。浜は埋立の計画により、転業を強いられ管工事業に転身。現在は経営を長男に譲り会長としてご活躍されております。近時の活躍の様子を本号と次号に掲載致します。石田様本当にありがとうございました。

経営者セミナーの企画には、新しい会員の(株)セレベル 浦野総支配人様に尽力いただきました。誌上をかりまして御礼申し上げます。浦野様にご活躍していることで、会に新しい風が吹き始めているように感じます。理事会として、新規会員獲得に向けて取り組んでいます。当会活性化のため多くの新規会員の増強を図りたいものです。



南事業会

南事業会ニュースの運営費は、会員様の広告収入で賄われています。  
今後とも、ご協力の程宜しくお願い致します。